

## コミュニティ協議会との意見交換等のまとめ 個表（案）

中央コミュニティ協議会

### ① 運営の工夫・利用者（住民の満足度）の向上

<b>利</b> 用者への配慮と適切な対応	<p>【現状】中央コミセン・中町集会所とも予約申し込みのため、早朝から並ぶ利用者が多かった。</p> <p>【工夫している点】中町集会所においては近隣住民への影響を鑑みて、運営委員会で協議を重ね、予約開始時間を午後からに変更した。変更するにあたってしばらくの間、混乱を避けるために声掛けや掲示物での周知を行った。令和2年度より、利用者の要望で予約開始時間を元に戻した。</p>
<b>新</b> しい利用者・利用団体の増加	<p>【現状】地域行事に参加することで、地域の輪を広げている。</p> <p>【工夫している点】来場者の多い「武蔵野桜まつり」に毎年協力し、協議会の活動を知ってもらうきっかけをつくっている。</p>
<b>施</b> 設の利用方法の工夫	<p>【現状】中央コミセン舞台付き大広間は、使い勝手が良く利用団体からは好評である。また、改修後は調理室、トイレともに明るく衛生的で使いやすくなった。利用者からはエレベーター設置の要望が出ている。中町集会所は三鷹駅に近く交通の便が良いため、他市からの利用者が多い。</p>
<b>情</b> 報の提供	<p>【現状】コミセンだよりを年4回、各5,200部発行している。</p> <p>【工夫している点】コミセンだよりでは、協議会・地域の情報、地域団体・イベント等の紹介をしている。また、地域の小学校へ子ども参加の事業のチラシ配布をお願いしている。</p>

## ② 地域におけるネットワーク機能

<p><b>利</b>用者・利用団体 とコミセンとのつ ながりづくり</p>	<p>【現状】中央コミセンのロビーをミニギャラリーとして利用団体に貸し出している。館内清掃では利用団体に呼びかけを行い、中央コミセン・中町集会所合わせて80～100名程度の参加がある。</p>
<p><b>地</b>域とコミセンの つながりづくり</p>	<p>【現状】「夏まつり」「文化祭」「もちつき」は中央コミセンの3大イベントであり、中央コミセン正面にある第一中学校生徒の協力を得ている。「夏まつり」「文化祭」では、地域団体などに模擬店の出店を依頼している。そのほか、「文化祭」では地域の小中学校の児童・生徒及びデイケアセンター、利用団体の作品発表の場として、1週間ほどロビーにて展示を行っている。</p>

## ③ 持続可能な協議会の運営

<p><b>運</b>営委員・協力員 の人材充実</p>	<p>【現状】運営委員が不足している。当該エリアに新設されたマンション入居者にもまつり、文化祭、その他の事業に参加してもらい、コミセン理解から始める予定である。</p> <p>【工夫している点】コミセンが次世代につながるためには、小中学生に関わってもらうことが重要なので、小中学生向けの事業の充実（中コミキッズフェスタや流しそうめん等）を図っている。</p>
<p><b>持</b>続可能な事業の 実施</p>	<p>【現状】これまで、ストレッチ教室以外の事業を中央コミセンで行っていたが、改修工事による7か月の休館をきっかけに、今年度は中町集会所でも事業を開催した。</p> <p>【工夫している点】中央コミセン・中町集会場所と2つの施設がある利点を活かして、今後、両館を活用した事業を検討している。</p>
<p><b>活</b>発な協議会運営</p>	<p>【現状】毎月一回の運営委員会を中心に、運営委員全員が協議会運営に真剣に携わっている。</p>